

2012 年 6 月 12 日

報道関係者各位

三菱重工業株式会社
三菱商事株式会社

「リオ+20」 ジャパンパビリオンに出展

低炭素社会の実現に貢献する多様な事業・製品を紹介

三菱重工業株式会社（以下、三菱重工）と三菱商事株式会社（以下、三菱商事）は共同で、6 月 20 日(水)からブラジルのリオデジャネイロで開催される「リオ+20（国連持続可能な開発会議）（注 1）」のサイドイベントである「リオ+20」ジャパンパビリオン（Rio+20 Japan Pavilion）に出展致します。

「リオ+20」ジャパンパビリオンは、わが国政府、自治体、企業などが出展する官民協働の“オールジャパン”パビリオンで、開催期間は 6 月 13 日(水)～24 日(日)です。ブラジル政府は各国 VIP を含む 5 万人規模の参加者を見込んでおります。

企業は 20 社以上が出展致しますが、そのうち、三菱重工と三菱商事の出展コンセプトは「低炭素社会（スマートコミュニティ）の実現」。これに貢献するそれぞれの会社の幅広い事業・製品等を展示・紹介します。（注 2）

具体的には、三菱重工は、エネルギー・環境関連では、ガスタービン・コンバインドサイクル（GTCC）、J 形ガスタービン、石炭ガス化複合発電（IGCC）、洋上風車、地熱発電、CO₂ 回収装置、LNG 洋上浮体式生産・貯蔵・積出施設（FPSO）などを、また、交通輸送関連では、次世代公共交通システム、リージョナルジェット機 MRJ、H-IIA/H-IIB ロケットなどをパネルと映像で紹介致します。

また、三菱商事は、スマートコミュニティ、水事業、太陽光、排出権事業などの環境配慮型のビジネスに関するパネルでの紹介やビデオの放映を行います。また、CSR 活動などに関するパネルを展示します。同時に、三菱自動車の新世代電気自動車 i-MiEV（アイ・ミープ）の実物を展示し、電気自動車を提供する新しい暮らしを紹介致します。

6 月 13～19 日、23～24 日は一般公開日となっており、三菱重工、三菱商事は広く同国の人々に両社のプレゼンスの向上をはかる方針となっております。

三菱重工並びに三菱商事は今後も、陸、海、空、宇宙にわたるすべての空間を活動領域として、低炭素社会の実現に貢献する多様な事業を推進していきます。

【イメージ図】



注1：リオ+20のテーマは環境と経済の両立です。同じリオの地で「地球サミット」（国連環境開発会議）が開催された1992年から20年目の節目に当たる今回の会議では、世界の経済、社会、環境の今後10年のあり方が議論されることとなります。開催期間は20（水）～22日（金）で、約120カ国の首脳等が参加する見通しです。

注2：南米最大の経済規模を誇るブラジルは“BRICs”の一国として安定的な成長を継続しております。三菱重工と同国との関係は長く、約半世紀前の1963年にボイラー製造の拠点としてCBC重工業（CBC Industrias Pesadas S.A）を設立、また、2005年には営業拠点に特化した伯国三菱重工業（Mitsubishi Industrias Pesadas do Brasil Ltda.）を設立して様々な事業を展開しています。

また、三菱商事は1955年にブラジルに拠点を開設、地域の発展に貢献すべく、様々な事業を展開してきており、中期経営計画2012ではブラジルを“全社戦略地域”に指定し、一層取組を強化しております。

以 上
本件に関する問い合わせ先
三菱重工株式会社
広報・IR部 広報グループ
山口寛明
Tel: 03-6716-2168

三菱商事株式会社

広報部 報道チーム

渥美雄介

Tel: 03-3210-8880